



「春日神社祭礼画帖」春日神社蔵



おしょういん  
大書院

篠山城内最大の建造物であった大書院は昭和19年(1944)に焼失しましたが、平成12年(2000)に学術調査にもとづき正確に復元されました。



二の丸御殿跡庭園

二の丸御殿跡は江戸時代の絵図や発掘調査の成果をもとに、御殿跡の部屋などの間取りを平面表示しています。



「春日神社祭礼画帖」春日神社蔵



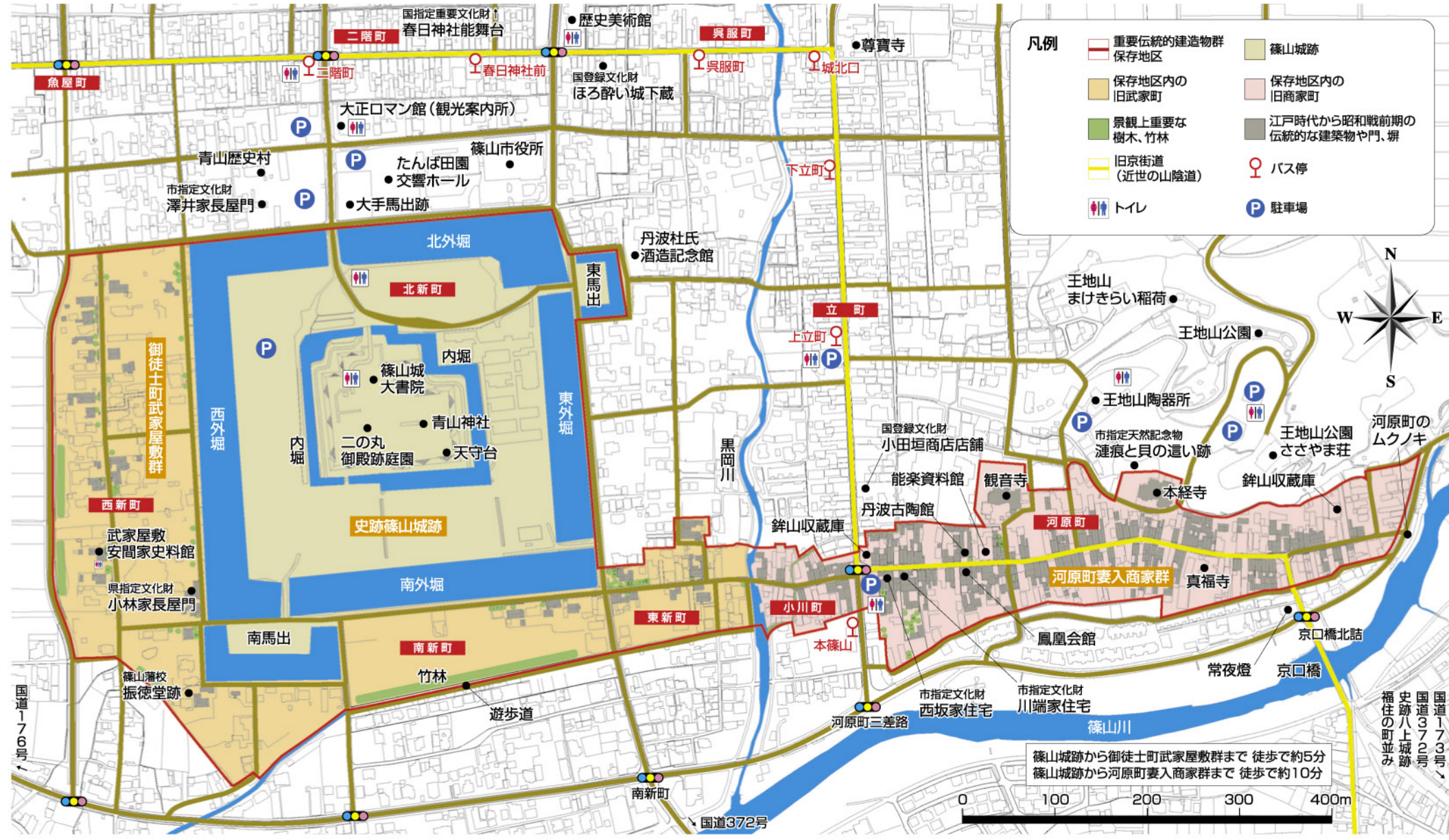
小林家長屋門(県指定文化財)

文化年間(1804~18)に建築されたと伝わる入母屋造茅葺の長屋門。篠山城西外堀に面し、当時の面影を今に伝える貴重な建造物です。内部は非公開。



あんまけ  
安間家史料館(市指定文化財)

茅葺で平入、曲屋形式(平面がL字型)の主屋と土蔵が残る徒士住宅です。内部には江戸時代の文書や食器を始め武具などを展示公開しています。



西坂家住宅(市指定文化財)

かつて醤油屋を営んでいた家で、江戸期の妻入商家の姿を今に伝える貴重な建造物です。内部は非公開。



川端家住宅(市指定文化財)

明治・大正期の町家で、約713坪の敷地に平入主屋と土蔵4棟、離れ、納屋などが当時の姿のまま残る貴重な建造物です。内部は非公開。

伝統的建造物の意匠 ~匠の技を今に伝える町並み~

